

# Oasis Screen Tarp with Flap

この度はオアシススクリーンタープ with フラップをお買い上げいただき誠に有難うございました。タープ設置の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設置してください。

## 設置手順

### 1 準備

(1)すべてのポール、付属品が揃っているか確認する。

●タープ	1張	
●ループポール (FRP)	3本	
●センターポール (スチール)	2本	
●コーナーポール (スチール)	4本	
●キャンピーポール	2本	
●ロープ	7本	
●ペグ	19本	
●ハンマー	1ヶ	

(2)本体のフラップのジッパーを開ける(メッシュのジッパーは閉じ、ジッパーの下のフックを止めておく)。

(3)スタンディングテープが止まっていることを確認する。

### 2 ポールのセットアップ

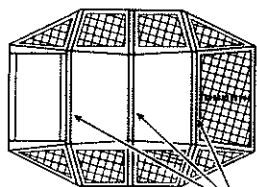


図1

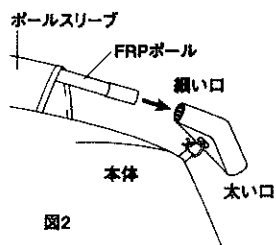


図2

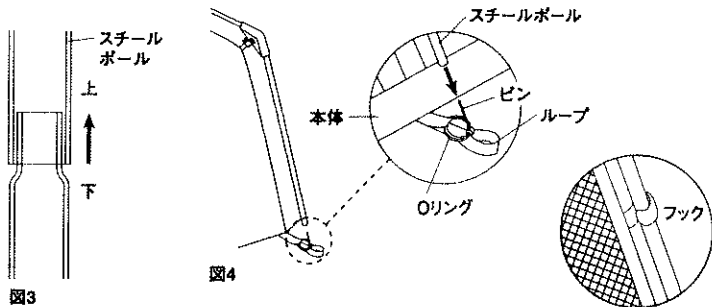


図3

図4

(1)3本のFRPポールを伸ばし、本体の上に付いている3箇所のポールスリーブにそれぞれ通す。(図1)

(2)ポールスリーブの両サイドに付いているプラスチックのジョイントパーツの細い差し込み口(内側に凹凸のある側)にポールを差し込む。(図2)

(3)スチールポールを伸ばす。

(4)中央のポールのプラスチックジョイントパーツ(太い差し込み口)に4本つなぎのスチールポールを差し込む。(図2)

※ポールのつなぎ目のメス側が上になるようにする。(図3)

(5)ポールの下側を本体の下側のループに付いているリングのピンに差し込む。(図4)

(6)反対側の中央のスチールポールについても同様に行う。

(7)4箇所のコーナーも同様に行う。

(8)本体に付いているフックを各ポールに掛けて固定する。

### 3 本体の立ち上げ

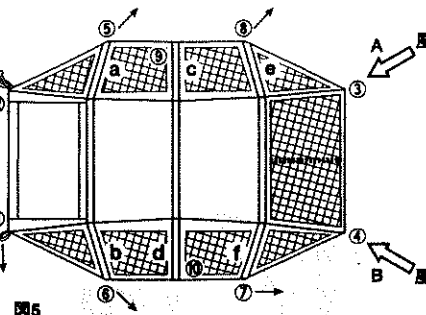
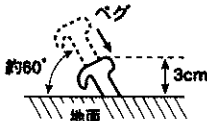
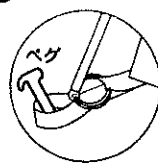


図5

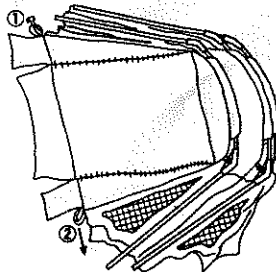


図6

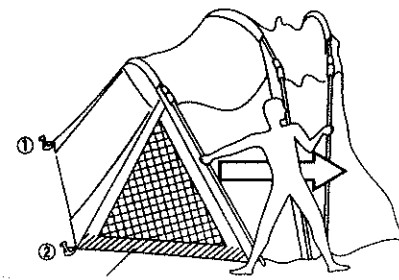


図7

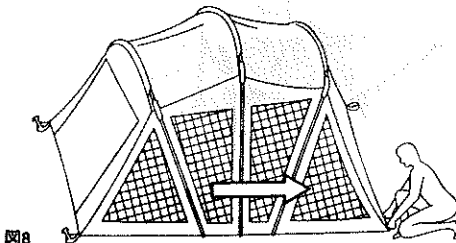


図8

(1)図5の本体前面キャンピー(メッシュ)サイドのループ①を地面に対し約60°の角度でペグ打ちする。  
※この時、風上がAまたはBの方向から吹くように位置を決める。

△注意  
風が強い時は風上の図5の③、④から始めてください。

(2)図5の②のループを矢印の方向に引き、ペグ打ちする。(図5及び6)

(3)本体すべてのポールを両側から2人で持ち上げ、風上へ引いていく。

※a,bのポールと①②のペグの部分の間がピンと張るところでa,bのポールを放す。同様にc,d,a,fの順に放していき、最後に③④のループを下に引き、③と④の間がピンと張る位置でペグ打ちする。(図7及び8)

(4)図5の⑤のループを軽く引き、ペグ打ちする。

(5)⑥のループを矢印の方向に強く引き、ペグ打ちする。

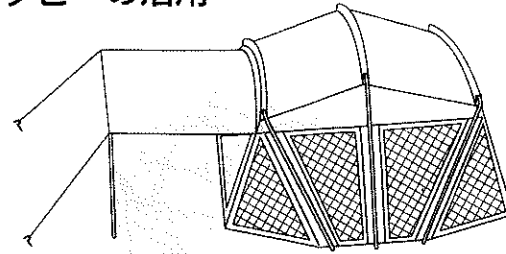
(6)⑦⑧のループについても同様に矢印の方向に引き、ペグ打ちをする。

(7)本体の内側に入り、⑨⑩のループを内側に引きながら、ペグ打ちする。

(8)スタンディングテープを外し、本体内側のポケットに折りたたんで収納する。

(9)キャンピーの内側のメッシュについている⑪⑫のループについてもペグ打ちする。

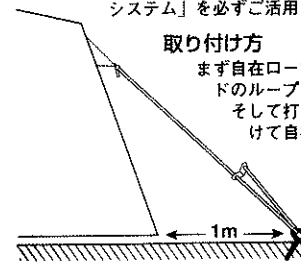
## 4 キャンピアーの活用



①付属のポールを使いドア面(背面)をキャンピアーとしてご使用になれます。

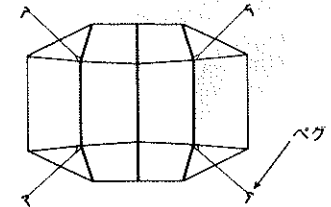
## 5 ストームガードシステムの活用

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。



### 取り付け方

まず自在ロープの端をストームガードのループに固定します。  
そして打ったペグにロープをかけて自在をしめあげます。



- ①上・左図の要領にて4ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
- ②自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

### ⚠ 取扱上の注意

- タープ内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。
- 台風・暴風雨の際は危険ですのでタープの使用はお避けください。

### ⚠ 収納・保管の注意

- ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態でご収納すると色うつりする場合があります。
- 生地の変色などは市販のリペアーキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

COLEMAN JAPAN Co.,Ltd.